

第7 2次印旛地区教育研究集会
第一部会安全教育研究部提案資料

子どもたちの安全意識を高め、実践力に結び付けるための取組
～校内外における安全に関する指導の日常化を通して～

佐倉市立青菅小学校

鳩谷和生

1. 研究主題

子どもたちの安全意識を高め、実践力に結び付けるための取組

～校内外における安全に関する指導の日常化を通して～

2. 主題設定の理由

佐倉市立青菅小学校は、佐倉市北西部に位置し、1986年（昭和61年）に開校の、今年で創立36年目となる学校である。全校児童559名で、市内で4番目に児童数の多い小学校である。これは、学区に1980年代から分譲された宮ノ台という住宅地があり、そこで育った世代が流出し、児童数が減少していた中で、西ユーカリが丘という新たな分譲地ができ、再び増加に転じたためである。そのため、学校ではプレハブ教室を増設するなどに至った。

児童数の増加により、登下校指導もそれまでに比べ、注意を要するようになった。例えば歩道の幅に対し、児童数が多くなったために密になり、歩きにくくなるといったものや、横断歩道で渡るのに時間がかかるなどといったものである。また、交通量の多い場所や見通しの悪い箇所もあり、近年では、ユーカリが丘地区内でも児童と自動車の接触事故なども起きており、交通安全の確保は本校の大きな課題である。学校では、日々の学校における安全指導に力を入れるようにし、定期的に登下校の安全指導を行っている。

そこで、子どもたちの安全意識を高め、安心して学校生活を送っていく資質能力の育成のため、本主題を設定した。

3. 研究仮説

校内外において、安全に関する指導を日常化していくことで災害安全や交通安全において自分で身を守る意識を高めることができるであろう。

4. 研究内容

○生活に関する安全（生活安全）

○安全に登下校するための取組（交通安全）

- ・登下校指導（学期始め・毎週）
- ・交通安全教室（年度初め 1・3年生対象）
- ・地域や保護者の方々の見守り
- ・校内での取組（各学級での指導）

○災害に対して安全意識や行動能力を高めるための取組（災害安全）

- ・避難訓練
- ・ワンポイント避難訓練
- ・職員の研修
- ・引き渡し訓練

本校における安全指導の年間予定は、以下のようになっている。

月	内 容
4	・登下校指導 ・避難訓練（地震）
5	・引き渡し訓練 ・ワンポイント避難訓練 ・交通安全教室（横断歩道の渡り方：1年生 自転車の乗り方：3年生） ・下校指導
6	・教育ミニ集会（三位一体の交通安全）・避難訓練（不審者対応）・ワンポイント避難訓練・下校指導
7	・ワンポイント避難訓練 ・下校指導
9	・登下校指導 ・避難訓練（地震・火災） ・ワンポイント避難訓練
10	・ワンポイント避難訓練・下校指導
11	・ワンポイント避難訓練・下校指導
12	・ワンポイント避難訓練・下校指導
1	・登下校指導 ・避難訓練（地震・火災）
2	・お礼の会（スクールガード等） ・ワンポイント避難訓練・下校指導
3	・ワンポイント避難訓練・下校指導

5. 研究の実際

○安全に登下校するための取組（交通安全）

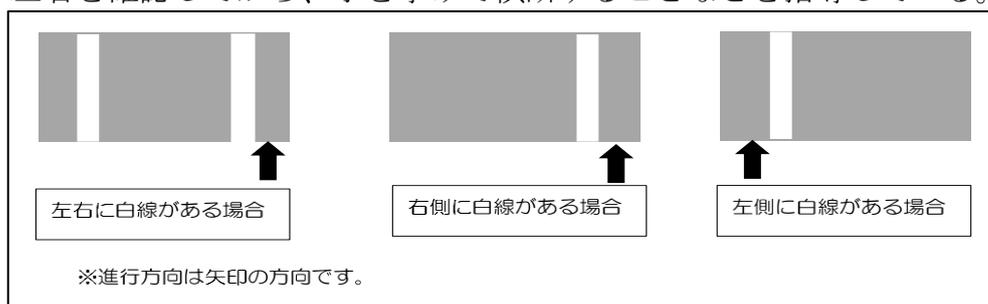
・登下校指導

登下校に関しては、年度始め、夏季・冬季の休業明けの登校指導は、登校初日から3日間行っている。また、下校指導に関しては、毎週金曜日に行っている。

児童への指導内容は、共通理解事項として、第一にあいさつを掲げている。これは、見守りをしてくださる方や地域の方、停車してくださった運転手に対して、会釈やあいさつをし、感謝の気持ちを伝えることが大切だという考えからである。見守りをしてくださっている方々は、ACM、町づくり協議会、クライネスサービス、PTA校外指導部などである。

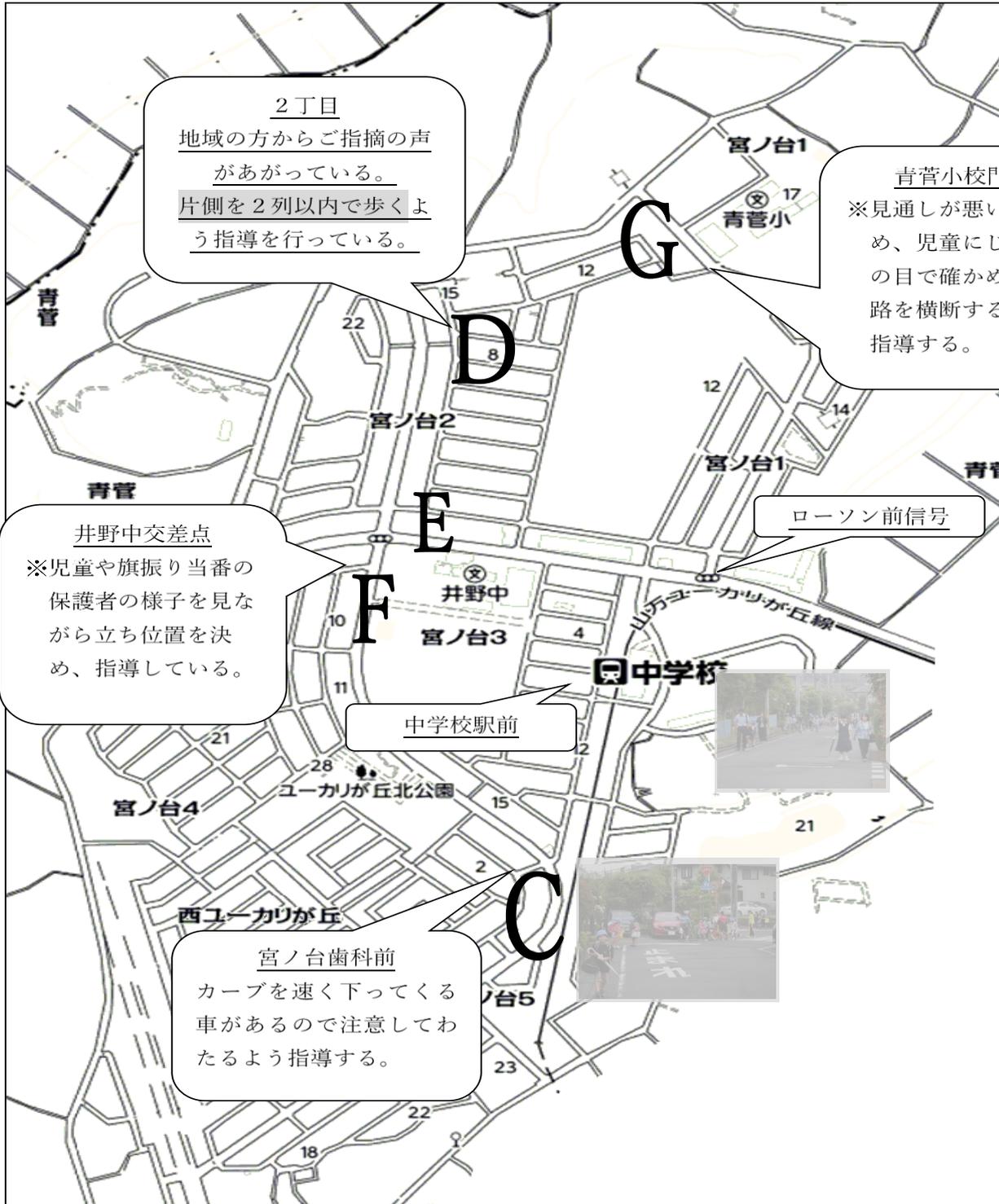
また、危険から身を守るための身の守り方として、各学級でプリントや安全担当が作成したパワーポイントを使った視聴覚資料を基に指導を行っている。

交通ルールに関しては、右側通行、白線の内側を歩く、一列歩行、交差点で一時停止行動、横断歩道の渡り方、青菅帽子をかぶる、など日々の登下校指導で児童に対し、言葉かけをしている。また、白線がある道路の歩き方に関しては、登校時、左右に白線がある、又は右側に白線がある時は、その中を歩くよう指導している。横断歩道の渡り方に関しては、一時停止をし、左右を確認してから、手を挙げて横断することなどを指導している。





登下校での歩き方など教職員が言葉かけをし、付き添い見守っている。



2丁目
地域の方からご指摘の
声があがっている。
片側を2列以内で歩くよ
う指導を行っている。

青菅小校門
※見通しが悪いた
め、児童にじぶん
の目で確かめて道
路を横断するよう
指導する。

井野中交差点
※児童や旗振り当番の
保護者の様子を見な
がら立ち位置を決
め、指導している。

中学校駅前

ローソン前信号

宮ノ台歯科前
カーブを速く下ってくる
車があるので注意してわ
たるよう指導する。

・下校指導について

下校指導に関しては、毎週金曜日に下校時刻に合わせて、学年ごとに行っている。担当の場所は、交通量の多い場所や横断歩道がある場所など、注意を要する場所である。児童数の増加や、コロナ禍の影響もあり、今年度より、集合は1・2年のみとし地区別に下校している。3～6年生は、各学年で下校時刻を守って下校するよう指導している。各学年の教職員（担任）は校門まで付き添い、児童の下校を確認している。（校門前の横断歩道が危険なため）また、原則毎週金曜は児童の下校に付添い、必要に応じて指導を行っている。



・新1年生への重点指導について

1年生への安全に関する指導としては、交通安全教室の実施（令和4年度：5月12日木曜日）に際し、事前に、「登下校の安全な歩き方」について学級及び学年で指導を行った。

指導内容は、歩き方（押さない、走らない、右側通行、白線の内側を歩く、一列歩行、交差点で一時停止行動、手を挙げて横断歩道を渡る 等）を行った。

また、1年生児童は、入学当初は登下校に慣れていないため、担任とその他職員で、4月中は、方面別に下校指導を行っている。



担任が地区ごとに札を前に掲げ、児童は自分で地区を意識し、並んでいる。



横断歩道で手を上げて自分で確かめるよう指導している。

・交通安全教室

交通安全教室は、毎年、安全な歩行の仕方を身に付けさせることや登下校時の交通安全について意識付けをはかるねらいで取り組んでいる。今年度は、1・3年生を対象に5月に行った。内容は、1年生が安全な歩行の仕方、歩道の歩行の仕方、信号の見方や交差点での横断の仕方を、3年生は信号の見方や交差点での横断の仕方、自転車の乗り方について指導を受けた。

< 1年生の様子 >



< 3年生の様子 >



・地域や保護者の方々の見守り

本校では、毎週保護者の方やACM、町づくり協議会、クライネスサービスの方々が交替で登下校の見守りをしてくださっている。



横断歩道では、左右を確認するよう、見守りの方々から言葉かけをいただいている。



見守りの方々にあいさつをして登下校している。

- ・校内での取組（各学級での指導）

安全担当が適宜プリントやパワーポイントなどで作成した安全に関する資料を学級で使い、指導するようにしている。

○災害に対して安全意識や行動能力を高めるための取組（災害安全）

・避難訓練

避難訓練は、年4回（火災・地震・不審者対応など）を行っている。今年度は、夏休み明け「防災の日」に引き渡し訓練を行う予定である。年間の避難訓練は、以下のとおりである。

<避難訓練年間予定>

第1回	4月22日（金）	地震対応訓練	教室から校庭へ
第2回	6月30日（木）	不審者対応訓練	
第3回	9月1日（木）	引き渡し訓練	
第4回	10月7日（金）	地震・火災対応訓練	教室～校庭へ
第5回	1月11日（火）	地震・火災対応訓練	教室～体育館へ

※5月以降、毎月の安全点検日に合わせてワンポイント避難訓練を実施。

また、避難訓練では、引き渡し名簿が重要となるため、年度初めに全校で統一して作成している。引き渡し名簿は、始業式に「引き渡しカード」を配付し、それを基に、校務支援システム上の氏名・住所・電話番号・引き渡し候補者を確認し、学級の「引き渡し名簿」を作成している。

さらに、この引き渡し名簿は、4月、9月の保護者個別面談に際し、再度確認を行っている。これは、引き渡し時に名簿に名前のない方には、引き渡しができないためである。

以下に記入例を掲載する。

<記入例>

児童引き渡しカード						
3年1組		氏名	青菅 太郎		皂	〇〇〇-〇〇〇〇
自宅住所		佐倉市〇〇〇1-2-3				
引き渡し候補者	順位	氏名	関係	緊急連絡先の電話番号	備考欄	
	1	青菅 一郎	父	03(1234)〇〇〇〇	会社	
	2	青菅 次郎	母	090(5678)〇〇〇〇	携帯電話	
	3	青菅 菅子	祖父	488-〇〇〇〇	火・金の午後	
	4	佐倉 花子	友人	090(3456)〇〇〇〇	6年〇〇さん母	
	5					
	6					
兄弟関係	学年組	氏名		学年組	氏名	
	6年1組	青菅 四朗		年組		
	1年1組	五郎		年組		

◎ 友人の家族や、近所の方など、引き取りの可能性のある方は（事前に確認をとって）から）全員記入してください。→候補者に名前が無い方への引き渡しはできません。

◎ 1枚は学級担任に提出します。もう1枚は、家庭用として保管していただき、必要に応じてコピーしてご活用ください。

◎ 提出されたカードは1年間終了後、学校で処分します。

◎ 連絡先の優先順位は、保健調査票と同じ順位をお願いします。

◎ 提出の際は、必ず切り離してください。

年度初めの第1回避難訓練では、学級からの避難経路を知ることがをねらいとし、授業中に地震が発生した場合の対応の仕方を想定訓練している。(第1次避難・第2次避難・おかしもの約束)この訓練で、有事の際に冷静沈着かつ迅速に行動できるように指導を行っている。



素早い1次避難



防災頭巾などの着用も事前指導等で確認している。



避難経路を確認し、2次避難へ

教職員及び児童の基本行動（大地震発生時）

場 所	児童の基本行動	教職員の基本行動
各教室	①机の下にもぐって、机の脚を両手でつかむ。 （ガラス・壁に背を向ける。） ②防災頭巾をかぶる。 ③上履きのまま避難する。	①ベランダ出入り口や窓を開けて、避難口を確保する。 ②電気・ガスコンロを消す。 ③ヘルメットをかぶり、児童に避難経路と避難場所の指示を出して誘導する。その際、教室や廊下にまだ残っている児童がないかを確認する。 ④集合場所まで避難したら学級の人数を確認し、報告する。 （学級担任→教頭→校長）
家庭科室	①机の下にもぐる。 ②防災頭巾をかぶる。 ③中庭出入口から、上履きのまま避難する。	①出入り口や窓を開けて、避難口を確保する。 ②電気・ガスコンロを消す。 ③ヘルメットをかぶり、児童に避難経路と避難場所の指示を出して誘導する。その際、教室や廊下にまだ残っている児童がないかを確認する。

		④集合場所まで避難したら担任が学級の人数を確認し、報告する。 (学級担任→教頭→校長)
トイレ	①ドアを開けて頭を保護する。 ②助けを求める声を出す。	①声をかけて、残っている児童がいないか確認する。
廊下・階段	①近くの教室に入り、机の下に潜る。 ②助けを求める声を出す。	①声をかけて、残っている児童がいないか確認する。
理科室	①机の下にもぐる。 ②防災頭巾をかぶる。 ③後ろのドアから校舎裏道路を通り、校門から避難場所へ上履きのまま避難する。	①出入り口や窓を開けて、避難口を確保する。 ②電気を消す。 ③ヘルメットをかぶり、児童に避難経路と避難場所の指示を出して誘導する。その際、教室や廊下にまだ残っている児童がいないか確認する。
音楽室	①防災頭巾をかぶって中央に集まり、指示を待つ。 ②中庭出入口から、上履きのまま避難する。	④集合場所まで避難したら担任が学級の人数を確認し、報告する。 (学級担任→教頭→校長)
図書室	①机の下にもぐる。 ②防災頭巾をかぶる。 ③中庭出入口から、上履きのまま避難する。	
体育館	①口を結んで担任の回り(中央)に集まり、しゃがんで頭を保護する。 ②あわてず、指示を待つ。 ③体育館昇降口から出る。	①扉を開けて避難口を確保する。 ②児童を中央に集め、状況を見て避難場所の指示をする。 ③トイレに行っている児童がいないか確認する。
校庭	①中央に集まり、しゃがんで指示をまつ。	①児童を落ち着かせる。 ②児童を中央に集め、静かにさせて避難の指示をする。

事前指導における重点項目は、①地震の場合は、窓を開けることや出入り口をあけること②普段から、校内放送を落ち着いて正確に聞き取る態度を大切にさせること③避難行動のとり方や約束として、ガラスに頭を向けない、頭を守る、しっかりと机の脚を両手でにぎること、避難経路・避難場所の確認・「おかしも」の約束の確認④外に出た後も静かに過ごし、話を最後までしっかり聞くこと⑤地震発生の際は防火扉が閉まる場合もあることを知らせ、つまづかないよう気をつけ、順番に扉を通ることを確認している。

・ワンポイント避難訓練

ワンポイント避難訓練は、毎月の安全点検日に合わせて実施している。時間は、授業中だけでなく、休み時間や清掃中も想定し行っている。児童のねらいとしては、様々な場面において自分で危険を予測し、回避できることや一次避難の仕方について理解し、実行できることなどである。また、教職員においても児童のねらいが達成できるよう、各学級で事前・事後に指導を行っている。教職員に関しては、振り返りシートを使い、事後の指導に生かしている。

実施内容として事前指導において、①地震の場合は、窓を開けることや出入り口をあけること、カーテンを閉めることで身を守ることができる可能性が高くなることを知らせておく。②平素から、校内放送を落ち着いて正確に聞き取る態度を大切にさせる。③避難行動のとり方や約束として、・物が「落ちてこない」、「倒れてこない」、「移動してこない」場所で、シェイクアウト（「まず低く、頭を守り、動かない」）を重点項目として指導している。また、避難経路、避難場所、「おかしも」の約束（すばやく判断し、避難できるようにしておく。）を再度確認している。特に「も」の指導として、落とし物や忘れ物があっても、絶対に戻らないことを伝えている。④各場所の出入り口及び避難経路に障害物がないか確認しておく。教室では通路側に荷物がないようにする。消火器の位置も確認する、といった点について行っている。



ワンポイント避難訓練では、児童のためだけでなく、教職員も振り返りシートを使い、次の指導に生かすようにしている。以下に振り返りシートの内容を載せる。

振り返り	◎	○	▲
児童への指導			
全員が机の下にもぐったことを確認	確認した		見ていない
窓に背を向けていることを確認	確認した		見ていない
机の脚をしっかり持っていることを確認	確認した		見ていない

自身の振り返り			
ヘルメット	かぶった		意識していない
引き渡し名簿	持った		意識していない
危機管理マニュアル	持った		意識していない
学級札	持った		意識していない
けが人（松葉づえ等）	誰が補助するか決めてある		どのように避難させるか未決定
交流学习をしている場所	把握している		把握していない
欠席者の把握	児童名を言える		意識していない
避難経路の確保	動線が確保されている		素早く動きにくい
避難経路図の場所	確認した		見ていない
その他			
他の学級の児童数	意識した		意識していない
休み時間等で、放送が使えない場合の避難誘導	意識した		意識していない
停電時の水	意識した		意識していない
停電時の給食	意識した		意識していない
保護者連絡（マチコミメール）	意識した		意識していない
引き渡しルール	意識した		意識していない
災害用携帯	意識した		意識していない
避難所開設	意識した		意識していない

・職員の研修（引き渡し訓練）

昨年度は、コロナ禍のため、実際の引き渡し訓練ができなかったが、教職員間での研修として想定訓練を行った。この訓練では、教職員間で、児童役、教師役、保護者役を決め、実際の引き渡しを想定し、訓練を行った。



6. 成果○と課題●

<○成果>

- 学級担任が毎回の避難訓練の後に学級で事後指導をすることにより、児童が自分の避難行動を振り返ることができている。
- 登下校の際に、児童があいさつをすることで、児童の心の中に常に見守ってくださる方々に感謝する意識が芽生えている。
- 児童が自分の身は自分で守ることが（交通安全・災害に対する安全など）身についてきた。
- ワンポイント避難訓練により、1次避難を素早くすることができるようになった。
- ワンポイント避難訓練により、校内のどの場所においても適切な避難を考え、行動することができるようになってきた。
- 避難訓練では、昨年度から時間を計り、2次避難後の講話で話すことにより、1次避難から2次避難まで時間が短くなり、迅速な行動がとれるようになってきた。
- 研修では教職員で引き渡し訓練を行ったために、次回の実際の訓練の際に想定し、取組やすくなった。
- 見守りをしてくださっている地域や保護者の方々から横断歩道などの渡り方や歩き方などの言葉かけをいただき、子どもたちも自分の目で確かめるようになってきている。

<●課題>

- 登下校時に道路に広がって歩く例も見受けられ、今後も継続して指導していく必要がある。
- 横断歩道の渡り方などについては、信号が赤に変わった後も渡り、危険な面も見受けられる。継続して指導が必要である。